

日本非破壊検査協会 東北支部 講演要旨の書式について

学 東北 花子^{1,*} 正 宮城 太郎¹
正 仙台 一郎²

¹ 東北大学大学院工学研究科

² 非破壊大学大学院工学研究科

*info@jsndi-tohoku.jp

On the Format of Abstract for the Japanese Society for Non-Destructive Inspection Tohoku Branch

Hanako Tohoku,^{1,*} Taro Miyagi,¹ Ichiro Sendai²

¹Department of Nanomechanics, Tohoku
University

²Department of Mechanical Engineering, Hihakai
University

キーワード：非破壊検査、東北支部、講演会要旨、
書式

1. 緒言（又はまえがき）

この原稿は（一社）日本非破壊検査協会東北支部
が開催する講演会の講演要旨の執筆要項を記載し
たものです。

講演要旨は A4 用紙，2 段組みとします。上下左
右 20mm の余白を設け，中央の間隔は 10mm としま
す。題目は 13pt の太字で，著者名と所属は 11pt と
し，本文は 10pt の文字で記載することを標準とし
ます。

2. 原稿執筆の手引き

2.1 原稿のページ数について

講演要旨は 1 ページを標準としますが，特別講演
等では増ページを認める場合があります。

2.2 原稿の題目等に関して

はじめに題目，著者名，所属を日本語と英語で記
載して下さい。

2.3 キーワードに関して

講演に関係するキーワードを 4～5 語記載して下
さい。

2.4 図および表に関して

本文中では図 1，表 1 のように引用して下さい。

なお講演要旨は通常白黒印刷され，支部会資料と共
に製本されますので，白黒印刷で十分識別できるよ
うに作成して下さい。

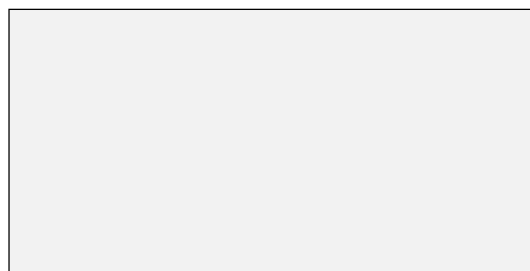


図 1 題目を図の下に記載

2.5 数式に関して

本文中では式(1)のように引用して下さい。

$$R = \frac{Z_2 - Z_1}{Z_1 + Z_2} \quad (1)$$

2.6 引用文献に関して

本文中では，例えば^{(1),(2)}のように引用し，引用文
献は本文末尾にまとめて下さい。

3. 結言

本原稿では章を設けるスタイルとしております
が，章を設けないスタイルで執筆いただいても構い
ません。本原稿を参考にしてより見やすく，充実し
た講演要旨を作成して下さい。

参考文献

- (1) 著者 A, 著者 B, 著者 C: 論文題目, 非破壊検査,
61, pp.597-604 (2012).
- (2) Author A, Author B, Author C and Author D: Title
of paper, Mater. Trans., 48, pp. 1166-1172 (2007).